

羽尾城跡(比企郡滑川町)

左手が目印の金光地集会場の建物/右手の道を登って行く



この先に「羽尾城跡」の標柱が立っている



左手から登って来た所にある標柱



築城は1572年で、松山城の出城として築城されたもので山崎若狭守の居館であったとされる



まず、左手の道を進んでみる/城域の東側へと歩く



この道は二重の堀跡の一つ(外側の堀)で、右手にもう一つの堀跡(内側の堀)が延びている(二重土塁)とのこと/つまり、この道の両サイドは土塁であるという



外堀跡を進むと前が開けて来る





この畑地も城域の一部であったと言われる



もう少し進んでみるとこのようになっており、右手は切り通しのような感じで、ここまでが城域であったという



これが左の切り通し/右側が城域の東端部



城域の東端部の畑地を見る



さて、元の場所に戻ろう/前方の道(外堀跡)に戻る



左手の木々の中を覗きながら戻る



左手(城域中心部分)の藪を覗いてみる/右手は外堀跡



前方へ延びる窪みはもう一つの堀跡(内堀)/つまり、その両サイドは土塁である



内堀跡が右手の外堀跡と並行して前方に延びている



振り返って見る/左手が外堀跡で右手が並行して延びている内堀跡



外堀跡から横に延びる内堀跡を見る/その手前と後方に土塁が横に延びる



元の場所まで戻ってくる



右側の土塁(一番外側の土塁)を見る



元の場所に戻った/次は反対の方向へ進んでみる



少し進んで振り返る/標柱が見える



この右手をしてみる







こんな感じ



前方は城跡中心部分だが、手前の畑地の辺りも城域の一部(西端)であるという



右手は城域の南側で下には市野川が流れている



さて、次は元の場所から右手の方向に進んでみる



城域中心部分(南側)へ進む





ここからも内堀跡が見える



更に進む



少し進んで振り返って見る



ここで直角に曲がっている



この辺り(城域中心部分か)はこんな感じ





ここでまた曲がっている



ここで振り返って見る



更に進む





少しクランクしている



振り返って見る



更に進む



斜面となって下っている/この先に市野川がある



さて、市野川から城域方向を見る



この正面辺りが先程の城域中心部分方向





ここから登ってみる



前方には土塁が横たわっているような感じ





参考ホームページ

<http://jvokakuzukan.la.coccan.jp/002saitama/070haneo/haneo.html>

<http://homepage3.nifty.com/azusa/saitama/namekawamati.htm>

<http://ckk12850.exblog.jp/8224417/>

http://homepage1.nifty.com/05170517/zenkoku/saitama/864_haneoivo_1.htm



インターネットより



インターネットより